

## 第2学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

### 1 主題名 諦めない心

### 2 ねらい 為末さんの経験や考え方を通して、自らを信じ希望を持って、困難や失敗などの逆境を乗り越え、目標に向かって努力し続けようとする態度を養う。

教材名 『自分』を諦めない。立ち上がった瞬間が自信になる」

（出典：「あすを生きる2」 日本文教出版）

### 3 主題設定の理由

#### （1）ねらいや指導内容について

自分で目標を設定しその達成を目指すことは、日々の生活や人生を充実したものにする。しかし、その過程には様々な困難がある。物事が順調に進まず困難や失敗を経験した時にはそのことに囚われ、やり遂げようとする意志や自信を失い、自己肯定感をもてなくなってしまうこともある。逆境に負けず目標に向かって努力し続けるためには、困難や失敗を受け止め、希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗に囚われない柔軟でしなやかな思考が求められる。困難や失敗をどのように捉え、自分自身の弱さに打ち勝つのか、そしてそれをどのように乗り越え最後までやり遂げようとするのか考えることは、目標を達成するために重要なことである。さらにはやり遂げた達成感を、より高い目標に向かって挑戦し続ける力に変えていくことが人生の充実につながる。自己肯定感に支えられた現実の受け止め方や自分を客観的に見つめる視野の広さ、目標の実現に向けた強い意志を養い、自分の生き方に自信がもてるような道徳性を養いたい。

#### （2）生徒のこれまでの学習状況及び実態について

生徒は、昨年度の道徳の時間で、「目標は小刻みに」（出典：「自分を見つめる1」あかつき）という教材を用いて、一步一步着実に積み上げる努力が、大きな目標を達成できることを自覚し、達成への実践意欲を育む学習を行った。社会科の授業「江戸時代における貿易の振興から鎖国へ」において、島原天草一揆などを取り上げた。キリスト教徒が迫害されている世の中でも、幕府に対抗しようと天草四郎を中心に兵を挙げ、結果鎮圧されてしまったが、民衆のあきらめない姿勢や行動が大きな力となり、その後キリスト教徒の力強さが人々に語り継がれ、キリスト教の人々に勇気を与える成果を上げたことを学習した。その際、困難や挫折を繰り返し、それでも努力し続けた民衆の力強さや勇気について触れ、その大切さを学んだ。

本学級の生徒は、年度当初、初めてのクラス替えに戸惑い、不安そうに過ごしている生徒もあり、小学校からの友人とだけ話すような雰囲気も見られたが、徐々にお互いを理解しようとする態度に変わってきた。また、体育祭や校外学習に向けての取組を通して、その時の学級の課題解決に向けて呼びかけをする姿や、それぞれの仕事を学級のために責任をもってやり遂げようとする様子が見られ、学級としてのまとまりが高まっている。その一方で、学習や日々の生活の中で自分に自信がなく、自分の考えを表現していくことが苦手な生徒も多い。入学当初に思い描いた理想の姿と現在の自分の状況のギャップに苦しみ、簡単に諦めてしまったり、失敗やできないことを隠そうとしたり、失敗を恐れるストレスを間違った方向へぶつけてしまう行動などが見られる。目標達成には必ず失敗や挫折がつきものであり、現実を受け入れながらそれでも努力し続けることが、今後の自分の生き方に自信がもてるようになるということに気づかせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、元オリンピック選手である為末大さんが、経験を基に、自分の生き方に自信をもてるようになるまでの過程が描かれている。この教材を通して、主人公「為末大」の心の内を考えさせながら、結果の良し悪しのみで気持ちを左右させるのではなく、挫折したり失敗したときにそこから立ち上がり、「自分是可以する」と信じて意思決定をしたり努力したりすることが、自分に自信をもつことにつながるということに気づかせたい。

そのために、本時の話し合いでは、以下の場面を中心にねらいに迫っていく。

○子どもたちに「何度でも跳んでいいよ」とだけ言う場面で、その理由を考えさせ、困難にぶつかった時もどう克服するか自分で決めなければならないことに気づかせる。

以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	<p>1 事前にとったアンケートの集計結果を見る。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p>		<p>・「自分の人生を充実させるためには成功体験と失敗体験のどちらが大切か」というアンケートを行い、集計結果に注視させ、考え方に違いがあることを理解させる。</p>
	<p>自分の生き方に自信がもてるようになるにはどうしたらよいだらう。</p>		
展開	<p>3 教材を読んで話し合う。</p> <p>(1)為末さんはなぜ子どもたちに「何度でも跳んでいいんだよ。」とだけ言うのだろうか。(補助発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さの違うハードルを用意するのはどうしてだろう。</li> <li>・なぜ為末さんは「いいからもう一度とんでみる」と指示しないのだろうか。</li> <li>・「何度でも跳んでいいよ」という言葉で、為末さんはどんな気持ちを子どもたちに伝えたいのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しくても何度も挑戦することが大切だから。</li> <li>・跳べないことは失敗じゃないから何度も挑戦すればいい。</li> <li>・跳ぼうと自分が決めることが大切だから。</li> <li>・できるかどうかわからないけど、挑戦することが大切だから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の紹介をする。</li> <li>・主人公の考え方や心の動きに着目させる。</li> <li>・困難にぶつかったときもどう克服するかは、自分自身で決めなければならないことに気づかせる。</li> <li>・「何度でもやっいていい」ということから、希望や勇気を持ち、自分で高い目標に向かって努力し続ける力となることに気づかせる。</li> </ul> <p>(補助発問)を設定した意図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挫折しても何度も挑戦する大切さだけでなく、自分で意思決定することや跳べないという結果に囚われるのではなく、どのように課題を克服していくのか考えたり工夫</li> </ul>

	<p>(2)自分の生き方に自信がもてるようになるにはどうしたらいいだろうか。</p> <p>4 自分を見つめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に向かって努力し続ける。</li> <li>・できないと決めつけず、何でも挑戦してみる。</li> <li>・自分には無理だとあきらめない。</li> <li>・できなくても、失敗しても落ち込まず、次のことを考えていく。</li> <li>・今まで自分ができそうもないことや苦勞しそうなことは、避けてきました。なぜならどうせできないとってしまう自分がいるからです。為末さんの生き方から、結果に囚われず、まず「やってみる」ということが大切だと気付きました。私は今、家で自主練として素振りをしています。でも、もっと良くなる自分の姿を思い浮かべて毎日続けていきたいと思いました。</li> </ul>	<p>したりすることの大切さに気づかせ、考えを深めさせる。</p> <p>☆主人公の言葉に込められた想いについて、友だちの意見を聞き、それらを踏まえて考えを深めている。(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人→グループ→学級で考え、話し合う。グループの意見をホワイトボードに書かせ、発表させる。</li> <li>・授業を振り返り、自分を見つめながら学習課題について考える。</li> </ul> <p>☆これまでの自分を振り返り、人生を充実させるために自分の生き方に自信をもつためには、何が必要か考えを深めている。(記述)</p>
<p>終末</p>	<p>5 本校卒業生の説話を聞く。 高校生になった卒業生が中学校生活のどのようなことが自信になったと感じているか知ろう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって身近な卒業生が中学校生活のどのような経験が、今の高校生活を支えていると実感しているかを知ることができる。</li> </ul>

## 5 他の教育活動との関連

事前指導	帰りの会でアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。
社会科	「江戸時代における貿易の振興から鎖国へ」において、島原天草一揆などを取り上げた。キリスト教徒が迫害されている世の中でも、幕府に対抗しようと天草四郎を中心に兵を挙げ、結果鎮圧されてしまったが、民衆のあきらめない姿勢や行動が大きな力となり、その後キリスト教徒の力強さが人々に語り継がれ、キリスト教の人々に勇気を与える成果を上げたことを学習した。その際、困難や挫折を繰り返し、それでも努力し続けた民衆の力強さや勇気について触れ、その大切さを学んだ。
事後指導	帰りの会で、本時の学習を通して学んだことを学級全体で共有する。
家庭との連携	本時の授業内容や生徒の感想を学級通信で紹介し、家庭でも話題にしよう。

## 6 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公の言葉に込められた想いについて、友だちの意見を聞き、それらを踏まえて考えを深めている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・これまでの自分を振り返り、人生を充実させるために自分の生き方に自信を持つためには何が必要か考えを深めている。

## 7 板書計画

◎自分の生き方に自信がもてるようになるにはどうしたらよいただろう。

□「自分」をあきらめない。立ち上がった瞬間が自信になる。

パワーポイントを使ったアンケート集計結果や主人公についての導入

「何度でも跳んでいいんだよ」

- ・何度も挑戦することが大切
- ・跳べないことは失敗じゃない
- ・自分が決めることが大切
- ・挑戦することが大切

○「自信」をもつためにしていくことは？

- ・目標に向かって努力し続ける
- ・できないと決めつけず、何でも挑戦してみる
- ・自分には無理だとあきらめない
- ・できなくても、次どうすればできるか考える